

幼児教室ひまわりの加藤です。

今回頂いたご相談メールは、3歳のお子さまのしつけに関する
ご相談です。

具体的には、人を叩くことに悩んでいるというご状況です。

人を叩くという行為は、もちろん親御さんとしては止めさせたい
と思っています。

さらには、年齢が上がっていくと「暴力」や「喧嘩」などにも
発展して、悩まれる親御さんも多いと思います。

そこで今回の音声では、聴いておられるすべての親御さんに関
係するように、「子どもの暴力」についての考え方や具体的な
対処法についても解説いたしますので、ぜひ最後まで聴いてく
ださい。

それでは今回お伝えすることは、大きくこちらの2つです。

- ・暴力に対する考え方と対処法
- ・わが子への具体的な声かけ（どう伝えれば良いか？）

それでは1つずつお話していきます。

■暴力に対する考え方と対処法

まず最初にお伝えしたいことは、お子さまの暴力についての考
え方です。

今回ご質問された方に限らず、特に男の子がいらっしゃる親御さんは、現状、そして今後も、わが子の暴力について悩まれることが出てくると思います。

これは、その子が悪いわけでもないですし、もちろん特別な凶暴な性質があるなどは、ないと思います。

なぜ子どもが人を叩いたり暴力的な行為をしてしまうか？
簡単に言いますと、子どもはまだ、暴力以外の対処法を知らないからです。

これは、子どもが何歳になっても同じです。

今回ご質問された方のお子さまの年齢である3歳くらいであれば、そもそも人生の経験値が少ないですし、言葉による表現力もまだ十分にありませんので、本人にとってより簡単な手段である「手」を使うという行為に出ます。

これは、もう少し大きくなっても、基本は同じです。

小学生や中学生になり、男の子が暴力行為をする場合も、暴力以外に解決する手段を、子どもがイマイチ理解できていないのです。

「暴力をした方が手っ取り早い」という感覚があるのです。

これは裏を返せば、「暴力以外で解決する力がまだ備わっていない」ということです。

子どもは何歳になっても、経験不足であり、未熟な状態です。
だから親御さんも含めて、私たち大人が教えていかなければいけないのです。

まずは親御さんとしては、「子どもが暴力をするのは、暴力以外の手段を知らないから（力が備わっていないから）」ということを理解しておきましょう。

暴力以外の手段を教えてあげたり、暴力以外で解決できる力を育ててあげることが、親御さんがこれからすべきことと言えます。

今回ご質問された方も同じです。

お子さまは3歳ですので、圧倒的に人生の経験がまだまだ少ないご状況です。

お子さまは、何をして良いのか？何をしてはいけないのか？その分別もまだできません。

だから、親御さんが一つ一つ教えていきます。

頂いたコメントにはこのようにありました。

>息子に理由を聞いてみると「泣いているのが怖い」と言います。

お子さまにとって、これが本音であり、大きな問題なのだと思います。

私たち大人にはわからないかもしれませんが、経験の少ないお子さまにとっては、泣いている赤ちゃんが怖いのです。

私たち大人でも、怖い物に対しては、怯えますし、泣き叫ぶかもしれないですし、「どっか行けー！」と物を投げたり、攻撃しようとしたりしますよね。

これは、怖いものから自分を守るためです。

3歳のお子さまは、これと同じ状況なのだと思います。

ですので、そのように考えれば、お子さまの気持ちも理解はできると思います。

お子さまが手を出してしまう気持ちの理解ができると思います。

今回ご質問された方の現状の対応としては、このようなコメントがありました。

> 「怖いんだね」と言ってよしよししたりしますが、

これで良いと思います。

お子さまの気持ちに寄り添って、理解して共感してあげているので、素晴らしい対応だと思います。

ただ、「暴力」については、本来は問答無用で止めさせるくらいの気持ちも、親御さんは必要かと思います。

これはお子さまの年齢によって声掛けを変えていくのですが、

「どんな理由であっても暴力はいけない」ということは常に伝えなければいけないことです。

「理由を理解する」「気持ちに寄り添う」ということも大事なのですが、そのようなお子さまの理由や気持ちであっても、「暴

力はしてはいけない」ということを、お子さまに伝え続けなければいけないということです。

今回ご質問された方のコメントでもこうありました。

>いつも「叩かないよ」とか「頭や顔は大切なところだから叩かないよ」 とか

>あまりにも叩く時は、子どもを別々の部屋で過ごさせています。

>私の言い方が強くなる時もあります。

このような対応で問題ありません。

「叩いてはいけない」ということを常に伝えていきましょう。どんな状況であっても、どんな理由であっても、人を叩いてはいけないということを伝えます。

もちろん時には、厳しく言うことも重要です。

ですので、今回ご質問された方のように、「強い言い方」をするというご対応は、とても良いと思います。

多少の演技でも構いませんので、「お母さんが怒っている」という表情や行動を見せることはとても重要です。

ただ、今回ご質問された方は、このような対応をされているのに、現状がまだ変わっていないご状況です。

では、次に考えるのは、お子さまへの伝え方です。

■わが子への具体的な声かけ（どう伝えれば良いか？）

ここからは、お子さまへの具体的な声かけについて解説いたします。

先ほどもお伝えしましたとおり、子どもというのは基本的に経験不足で未熟です。

特に「理解力はまだ育っていない」ということを前提に接した方が良いと思います。

子どもは年齢が上がり、経験を積んでいきながら、物事を理解できるようになっていきます。

ですので、お子さまの年齢や状況の理解力に合わせた声かけが重要です。

こう考えると、お子さまがまだ小さい時というのは、できるだけ短くてシンプルな言葉をかけてあげなければいけない。ということがわかりいただけると思います。

たとえば、暴力についても、「叩いたらダメ」という言葉は良いですね。

とてもシンプルで短い言葉です。

人を叩いてしまうわが子に対しての親御さんの声かけとして、「相手の気持ちを考えなさい」というのがありますよね。

これも、「経験値が少なく理解力がまだ育っていない」という前提で考えるとどうでしょうか？

「相手の気持ちを考える経験」がまだ少ないから、わからないのです。

「相手の気持ち」のイメージがまだしづらいのです。

であれば、まずはイメージがしやすいところから話してあげると良いと思います。

たとえば、「お母さんは悲しいよ」と言った方が、お子さまにとっては、「大好きなお母さんが悲しいんだ」ということがイメージしやすいと思います。

このように、大人であれば難しいと思わない声かけでも、経験値の少ない子どもには、まだまだ理解できないもの（イメージしづらいもの）がたくさんあります。

親御さんはこの部分を意識すると良いと思います。

これは、お子さまの暴力に限りません。

暴力でなくても、お子さまに何か注意をしたりする際には、お子さまがイメージしやすいような、シンプルで短い言葉で伝えていきましょう。

「やってはいけないこと」「やるべきこと」をシンプルで短い言葉で伝えるようにします。

今回ご質問された方の場合は、3歳のお子さまが、10ヶ月の下のお子さまが泣いている様子を見ると、怖いから叩いてしまうというご状況です。

このような状況であれば、

「いないいないばー！ってやると良いよ」

「もし泣いてたらお母さんをすぐに呼んで！」

みたいな声かけが良いかなと思います。

「叩いてはダメ」と伝えるのとは別に、「こうしてね」ということをシンプルで短い言葉で教えてあげます。

実際にこれらを上のお子さまが実践してくれたおかげで、下のお子さまが泣き止んだり、笑ったりしてくれると、上のお子さまの「怖い」という感情もなくなるかもしれません。

お子さまにとって、泣いている赤ちゃんが泣き止む、笑顔になるというのを知らないのです。（経験がない）
だからずっと怖いのです。

でも、「泣き止むのを見る」という経験をすれば、怖くなくなるかもしれません。

これもその子にとっての大きな成功体験です。

このように、お子さまの暴力や、それ以外の注意などをする際には、シンプルで短い言葉による声かけを意識してみましょう。

それでは最後に、今回ご質問頂いた方のコメントの中で出てきた「どうして叩くの？」という声がけについて、解説いたします。

今回のご相談メールで、このようにコメントされていました。

> 「どうして叩くの？」と何回か聞くのですが、答えてくれず、泣きだしてしまいます。

> 「どうして叩くの？」と何回も聞くと泣きだしてしまいます。

このように、「どうして叩くの？」という問いかけをすると、お子さまが泣き出してしまうということですので、今後はあまり聞かなくても良いかなと思います。

ここまでお伝えしましたとおり、小さな子どもは人生の経験値が圧倒的に少ないと言えます。

3歳であれば、自分の意思がまだ明確でないですし、自分の考えを言葉にできる表現力もまだ備わっていないと思います。

叩くという行為について、なんで自分が手を出してしまうのかが、わからないことも十分ありえるのです。

私たち大人も、自覚がなくても涙が出ることがありますし、状況によっては、理性が崩壊して手を出してしまうこともあると思います。

自分の意思と行動が一致しない、よくわからないという状況です。

これらは大人であればレアなケースかもしれませんが、経験値の少ない子どもであれば、たくさんあってもおかしくないと思います。

ですので、今回ご質問された方も、これまでのお子さまの状況を考慮してあげて、「どうして叩くの？」と直接問いかけなくとも、その理由をある程度の推測で判断して良いかなと思います。

3歳のお子さまであれば、一般的には「悪意のある暴力」というのはほぼないと思います。

少し言い方は良くないかもしれませんが、「なんとなく叩いている」という状態です。

お子さまにとって手を出すのが楽であったり、一つの習性のようになっているかと思います。

今回ご質問された方のお子さまの場合であれば、下のお子さまを叩いてしまうのは、怖いからです。

自分を守るために手を出しているのだと思います。

旦那さまなどにも叩いてしまうことが、一つの癖や習性になっているかと思います。

悪意があるわけではなく、「叩いてはいけない」ことがまだよくわかっていないという状況です。

このような推測で、ある程度十分かなと思います。

もう少し大きくなれば、お子さまも自分の言葉で自分の感情を話せるようになると思います。

であれば、「どうして叩くの？」と聞いたり、自分の言葉で説明させたりすることよりも、「人を叩くのを止めさせる」ということを意識されてみるのが良いかと思います。

「人を叩いてはいけない」ということを言い続け、人を叩かず、「こうすれば良い」ということをシンプルで短い言葉で教えてあげれば良いと思います。

また、このようなコメントもありました。

>息子とはコミュニケーションは変わらずしているのですが、
>私の愛情不足から叩くのでしょうか？

ここについて、愛情不足だとは思いません。

頂いたメール内容のみの見解にはなりますが、お子さまとはきちんとコミュニケーションも取れているように見えますし、旦那さまも含め、家族全体に愛情が行き渡っている印象を受けます。

ただ、どれだけ親御さんが愛情を注いでいても、子どもは愛情不足と感じてしまう場合もあります。

たとえば兄弟がいるお子さまの場合は、下の子が生まれたことによる寂しい気持ちが出てきてしまうこともよくあります。

今回ご質問されたお子さまも、3歳という年齢で、下のお子さまが生まれた状況ですので、お子さまの中で「戸惑っている」という感覚に近いかと思います。

自分が兄になったということも、まだよくわからないと思います。

下の子に対して、自分がどういうことをしてあげれば良いのかもわからないと思います。

いつもお母さんが遊んでくれたのに、下の子が生まれてから、遊ぶ回数が少なくなったと思って寂しく思っているかもしれません。

これら、いろいろな要素が絡み合い、お子さま自身の意識でもわからないような「叩く」という行為をしているかもしれません。

もちろん叩く行為は止めさせるべきですが、そうになってしまうお子さまの気持ちも理解してあげると良いかと思います。

ただ、繰り返しますが、決してここまでの子育てが悪いというわけでもないですし、愛情不足ということもないと思います。

これはどのようなご家庭でも起こることです。

子どもとはそういうもの、親とはそういうもの、子育てとはそういうものです。

ですので、ご質問された方も、「愛情不足かな？」と思って、ご自身を責めたりネガティブな気持ちになることはないのですが、上のお子さまに対して、「ちょっと寂しい思いをしているのかな？」と気にかけてあげるのは良いかもしれません。

上のお子さまと二人だけの時間を作ってあげたり、褒めたり、抱きしめたりすることを今まで以上に多めにしてあげたりするだけでも、大きく変わると思います。

上のお子さまの「戸惑い」を消して、「安心」させてあげるようなことです。

このように、子育てはなかなか思うようにいかないことが多く、大変ではありますが、すべての親御さんが体験することであり、そんな方たちのために私たちもサポートしていきますので、みんなと一緒に頑張っていきましょう。

それでは今回のセミナーは以上です。

特別会員コースでは、毎週日曜日の朝に「悩み相談セミナー」を配信しております。

会員さまから届く子育てのお悩みを、他の親御さんたちにも共有し、そして悩みの解決へと導くことを目的としています。

もし現在子育てのお悩みや相談したいことなどがありましたら、遠慮なくサポートチームまでご連絡ください。

ご相談フォームはこちらです。

<https://88auto.biz/himawari/registp.php?sno=41>

※今回のセミナーの感想や質問もお受けしております！